

東北医科薬科大学 若林病院 連携だより

副病院長就任のご挨拶

副病院長・耳鼻咽喉科科長 東海林 史



日頃より大変お世話になっております。令和7年4月1日から3人目の副病院長に任命されました。出身は福島県郡山市安積女子高校で、東北大学を平成元年に卒業し、これまで36年間耳鼻咽喉科医として歩んでまいりました。当院がNTT 東日本東北病院だった時代に八木沼裕司先生のもとで1年半ほど勤務したことがあり、その後東北厚生年金病院を経て、東北医科薬科大学病院に8年間勤務、令和3年9月に八木沼先生の後継として若林病院に戻ってまいりました。

耳鼻咽喉科はしばらく一人体制で入院・手術を減らしていましたが、また二人体制になり手術機器や診療機器の整備も進み、副鼻腔内視鏡手術・中耳内視鏡手術など一通りの手術ができるようになりました。地域の先生方からも徐々に患者様をご紹介いただけるようになりようやく地域に受け入れていただいたと感じております。

若林病院は規模の小さな病院ですから、医療政策の変遷のあおりを受け何度も危機に直面してきました。現在の臨床研修医制度が始まってから医師の偏在が加速し、当院でもいくつかの診療科が閉鎖しましたし、医療費抑制政策のために病院の収益も減る一方です。そんな逆境のなかでも多くの熱意ある職員が踏みとどまって病院を維持してきました。小さいからこそこのチームワークもあり、地域の皆様方には当院を支えていただき大変ありがとうございます。

医療を取り巻く環境はまだまだ厳しいものがありますが、これからも関係機関の皆様方と協力して地域医療を守っていきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった
温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 副病院長就任のご挨拶……………P.1
- 名誉病院長退任のご挨拶・医師着任・退任のお知らせ…P.2
- 診療科紹介 — 整形外科 —……………P.3
- 看護師紹介・健診センター information……………P.4

名誉病院長退任のご挨拶（令和7年3月31日付）

先生方へー ありがとうございました。

佐々木 毅



病院の部屋の窓から楽天スタジアムの向こうに泉ヶ岳連峰がくっきりと見えております。この度、NTT 東日本東北病院から 20 年近く続けてきました当院での診療を辞することとなりました。この間 先生方には多大なご支援をいただきました。病診連携、勉強会、懇親ゴルフなどの交流、ご支援、そして東日本大震災時は救急車が病院玄関前に列をなして押し寄せ、病院稼働率は 100%を超える日々でしたが、医療事故も起こさず乗り切れたのは仙台では最大の被災地区でありながら支えていただいた皆様のお力添えに他なりません。

また、現在の東北医科薬科大学 若林病院への移行時には近所会の先生方の強い後押しをいただき、地域中心病院としての機能を維持することができております。誠にありがとうございました。今、当院は経験豊かな部長級の方々とともに本院からの若い先生方が澁瀬と診療に携われ、活気ある診療を継続できております。

改めて御礼申し上げますとともに、今後ともに当院をよろしくお願い申し上げます。

断らない病院の有難み

佐藤 譲



若林病院勤務中は連携の診療所や介護施設の先生方やスタッフの皆さまには長らくご支援をいただきありがとうございました。

私は東北大学や岩手医科大学で糖尿病の診療、教育、研究に従事してきましたが、2013 年に岩手医大定年後は NTT 東日本東北病院・東北医科薬科大学 若林病院の病院長を担当し、院長定年後は名誉病院長として、計 12 年間糖尿病診療を担当してきました。いつの間にか後期高齢者になりましたが幸い元気なので、今までの経験を患者さんに還元すべく、昨年は臨床の場を貝山中央病院（青葉区）に移し、

かかりつけ医として糖尿病診療に専念しております。

貝山中央病院には一般病床がないため、外来患者さんが急変したときは他の病院に紹介して入院をお願いしなければなりません。病診連携の立場が以前と逆転しました。かかりつけ医からみた病院の有難みは緊急時に患者さんを受け入れていただく病院です。貝山中央病院から若林病院にすでに多くの患者さんが緊急入院でお世話になっておりますが、いつも快く受け入れて下さる先生方やスタッフの皆さまに深く感謝しております。これからも若林病院が地域の頼れる病院として益々発展されることを期待しております。また、連携施設の皆様にはこれからも若林病院へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

医師着任・退任のお知らせ

着 任

産婦人科 安藤 宏輔 医師（令和7年7月1日付）

退 任

内 科 佐藤 孔亮 医師（令和7年6月末退職）

産婦人科 小野 貴寛 医師（令和7年6月末退職）



診療科紹介 — 整形外科 —

整形外科科長 石塚 正人

当院整形外科診療についてご紹介いたします。

整形外科は身体運動に関わる骨、関節、筋肉、神経などの運動器の疾患を扱う診療科です。

当科では運動器の変性疾患や打撲、捻挫、脱臼、骨折など外傷に対して整形外科専門医が診療を行っております。外来は常勤医師1名と東北大からの応援医師が診療にあたっております。令和7年4月から新たに骨粗鬆症と人工関節の専門外来を開設しました。

骨粗鬆症外来

DXA（二重エックス線吸収法）による骨密度検査、X線、CT、MRIによる画像検査や血液検査を行い、総合的に骨の状態を評価して病態にあった治療を提案しています。わが国の骨粗鬆症の患者数は増加しており、最近では女性1,180万人、男性410万人で合計1,590万人と報告されています。骨折・転倒は介護が必要になった原因の第3位（13.9%）であり、健康寿命の延伸のためには骨粗鬆症の診断、治療が極めて重要となります。骨折を予防することが骨粗鬆症治療の目標です。骨折する前の専門外来受診をご検討いただけますと幸いです。

最近では脊椎椎体骨折、大腿骨近位部骨折などの骨粗鬆症性骨折で入院された方に対して、看護師、理学療法士、薬剤師、放射線技師、管理栄養士など多職種が連携して骨粗鬆症治療に介入する骨粗鬆症リエゾンサービス活動を開始し、地域の骨折予防に貢献できるよう取り組んでおります。

変形性関節症

変形性関節症はさまざまな原因により関節の軟骨がすり減り関節が変形して痛みや腫れをきたす状態で、加齢に伴い進行します。日本では自覚症状のある患者数が膝関節で1,000万人、股関節で120万～510万人と推計されています。変形が進行し末期になると疼痛が増強し関節の動きが制限され、日常生活に支障をきたします。保存治療で効果がみられない場合は人工関節置換術の適応となることがあります。当院では人工股関節置換術、人工膝関節置換術を行える体制を整えております。

関節に痛みがあり状態を知りたい方から人工関節置換術を希望される方までご紹介いただけますと幸いです。

連携医療機関の皆様には日頃から大変お世話になっており感謝申し上げます。今後も若林地域の整形外科診療に貢献できるよう努めていきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

予約について

ご紹介状をお持ちの患者さんは、原則医療機関同士のご予約をお願いしております。

医療連携室を通してご予約をおとりすることができますので、「紹介票」のFAXをお願いいたします。

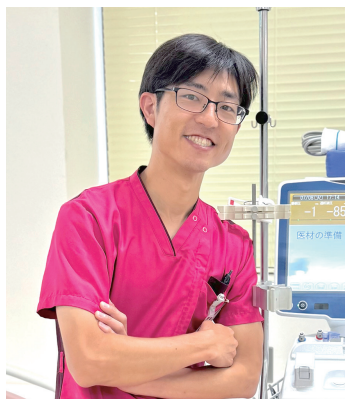
なお、当日のご紹介などは、整形外科外来へご相談ください。☎ 022-236-5771（外来直通）

骨粗鬆症リエゾンチーム



看護師紹介 ～ JHAT 隊員として登録しました～

透析室看護師 佐藤 達弥



日本災害時透析医療協働支援チーム（JHAT）は、災害時に透析医療の継続を支援する専門組織です。災害発生時には情報収集、被災地への派遣、医療スタッフ支援を行い、透析患者の命を守ります。JHAT の特徴は、柔軟な支援物資供給と医療体制整備にあります。

私は透析センターで勤務し、2年目に災害対策チームのメンバーとして活動を始めました。仙台で開催された JHAT 隊員養成講習会に参加し、災害医療の理解を深め、実際の支援活動への意欲を高めました。講習会では、スマートフォンを活用した訓練や、災害時の状況推測に基づく対応訓練を受け、迅速で柔軟な対応能力を養いました。これらの訓練を通じて、災害時における透析医療の重要性や対応の必要性を深く理解しました。今後、災害時に JHAT 隊員として派遣される際には、他施設のスタッフをサポートする立場を意識し、また、当院に JHAT 隊員を迎え入れる場合には、共に力を合わせて災害を乗り越えていけるよう、尽力したいと思っています。



健診センター information

オプション検査「miSignal(マイシグナル)®」導入しました

若林病院健診センターでは、人間ドックなどのオプション検査として、尿検査のみでがん罹患リスクの判定可能な「miSignal(マイシグナル)®」の取扱いをはじめました。マイシグナル®は、尿中のマイクロ RNA を AI 解析することによって、「今」と「将来」のがんリスクを判定します。1回の採尿で同時に複数（対象 10 種類：大腸、肺、胃、すい臓、食道、乳、卵巣、腎臓、膀胱、前立腺）のがんリスクを個別に判定できます。

同検査は発見が難しいすい臓がんをはじめ、いずれのがん種についても早期かつ高精度で発見することが期待できるため、急速に受検者が増加しております。

主な特長

- ① 無侵襲かつ手軽であり、特に準備なく受検可能
- ② がんのステージを問わない検出性能
- ③ 一度に複数のがんリスク判定が可能
- ④ 高いがん検出性能

費用

¥45,000～¥63,000（税抜）
*同時判定するがん種の数により変動

人間ドックのオプション検査のほか単体での検査も可能です。



お問い合わせはこちら

健診センター ☎ 022-236-5881

東北医科薬科大学 若林病院
患者総合支援センター

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920